

## 夢アイデアで海外プロジェクト発掘を

道の駅が生まれるきっかけは一主婦のボヤキにあったと聞いていますが、一般市民には、専門家、担当部署が思いつかない発想があったりする。いわゆる「灯台下暗し」ですね。そこにいくと、巷の人びとこそアイデアの宝庫と思われませんか。

そこで、ふと思いました。独裁国家でなければ夢アイデアの手法はどこ国でも有効ではないかと。やってみない手はない。とはいえ、国情はそれぞれ違いますし、一般市民対象に、公開というやり方がいいかどうかは分かりません。そこでまずは、無難なところからはじめてみてはいかがでしょうか。

たいがいの国には日本人会があります。「インドネシア在住日本人会」「タイ在住日本人会」などで、商社、在外公館、ジェトロ、JICA・・・諸々の進出企業、法人、個人、青年海外協力隊、専門家、そしてその家族により構成されています。この方々に、赴任国に関する夢アイデアを募集してみるのです。

どんなアイデアでも、まずは日本人会の内輪のことですから相手国に迷惑がかかることはありません。中には、目から鱗の素晴らしいアイデアが提案されるかもしれません。それを選んで相手国政府なり商工会議所みたいところに、こんなアイデアはどうですか、と、持ち込むわけです。身近な「OO 地区スラム街改善案」から始まって、「OO 地区農村ベンガルトラ保存計画」「カンボジア歴史遺産 回廊計画」、「アジアハイウェイ 道の駅設置構想」・・・。日本人が生んだ夢アイデアが、日比友好道路のように、両国親善の架け橋となれば素晴らしい。やり方については説明する必要もないですね。